

松梅校道徳通信

令和7年10月6日
文責：松本

9月は「生命」について考えました

今年度3回目の研究授業が9月24日（水）に行われました。今回のテーマは「生命の尊重」です。小学4年生、5年生、中学部ののぞみ学級で、それぞれの学年に応じた教材で取り組みました。ぜひご家庭でもお子さんと「生命」について話し合ってみてください。

小学4年生「わたしの見つけた小さな幸せ」

突然の病気で生命の危機を感じた主人公が身の回りの小さな幸せを見つける姿を通して生きていることの喜びや幸せについて考えました。日頃、何気なく生活している中にも、小さな幸せがあふれていることに気付くことができました。

児童の意見

「わたしの小さな幸せは、部屋でゆっくり休むことです。」



小学5年生「お母さんへの手紙」

重い心臓病を患った女の子が手術の直前にお母さんへ宛てて書いた手紙を題材に、支え合う生命について考えました。女の子が最期に手紙で言葉を書き残した理由を想像し、自分の生命を支えてくれている人々への思いを深めました。

児童の意見

「周りの人たちに『ありがとう』をちゃんと伝えていきたい。」

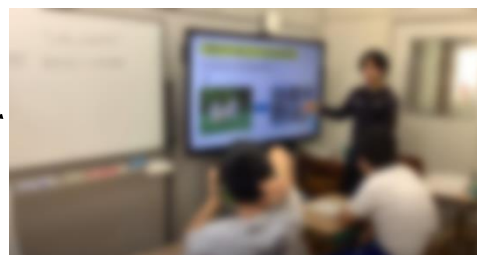


のぞみ学級「いきてるってどんなこと？」

猫・木・花・鳥という身の回りの生き物を例として挙げ、身の回りにはたくさんの命があること、そして命には終わりがあることに気付くことができました。命に終わりがある中で普段の生活をどう過ごすべきかを考えるきっかけになりました。

生徒の意見

「命がなくなったら好きなことができないので、大事にしたいほうがいい。」



アンケートにご協力ください

今回の道徳通信から、ご家庭で道徳について話されているかどうかを調べるため、アンケートを実施することにしました。1～2分程度で完了しますので、ぜひアンケートにご協力ください。

次回の研究授業は10月15日（水）。「相互理解、寛容」をテーマに小学部のいきいき2学級と中学2年生で授業が行われます。

道徳通信アンケート

